

一般住宅から、店舗、倉庫、屋内プールまで…活躍は無限大です。

構造用集成梁

ベイマツ

●規格寸法と設計価格(1本)

(税込)

巾	高さ	長さ			
		4,000mm	5,000mm	6,000mm	7,000mm
105mm	210mm	30,100円	37,700円	45,200円	—
	240mm	34,400円	43,100円	51,700円	—
	270mm	38,700円	48,400円	58,100円	—
	300mm	43,100円	53,800円	64,600円	—
	330mm	47,400円	59,200円	71,000円	82,800円
	360mm	51,700円	64,600円	77,500円	90,300円
	390mm	56,000円	69,900円	83,900円	—

(税込)

巾	高さ	長さ			
		4,000mm	5,000mm	6,000mm	7,000mm
120mm	210mm	34,400円	43,100円	51,700円	—
	240mm	39,400円	49,100円	59,000円	—
	270mm	44,300円	55,300円	66,400円	—
	300mm	49,100円	61,400円	73,700円	—
	330mm	54,100円	67,600円	81,200円	94,600円
	360mm	60,900円	73,700円	88,500円	103,200円
	390mm	63,800円	79,900円	95,900円	111,800円



ホワイト・ウッド

●規格寸法と設計価格(1本) (税込)

巾	高さ	長さ			
		4,000mm	5,000mm	6,000mm	7,000mm
105mm	210mm	23,200円	30,100円	36,100円	—
	240mm	27,500円	34,400円	41,400円	—
	270mm	31,000円	38,700円	46,400円	—
	300mm	34,400円	43,100円	51,700円	—
	330mm	37,900円	47,300円	56,800円	66,300円
	360mm	41,400円	51,700円	62,000円	72,200円
	390mm	44,700円	56,000円	67,100円	—

(税込)

巾	高さ	長さ			
		4,000mm	5,000mm	6,000mm	7,000mm
120mm	210mm	27,500円	34,400円	41,400円	—
	240mm	31,500円	39,300円	47,300円	—
	270mm	35,500円	44,300円	53,100円	—
	300mm	39,300円	49,100円	59,000円	—
	330mm	43,300円	54,100円	64,900円	75,700円
	360mm	48,700円	59,000円	70,800円	82,500円
	390mm	51,000円	63,900円	76,700円	89,500円



従来の天然ムク材では実現できなかった、快適な木造大空間を可能にした、東集の〈構造用集成梁〉。軽く、強度にすぐれるその特質が、天井高の高い、解放感あふれる空間を実現。もちろん、耐湿性、吸音性、視覚や触覚へのやさらかさなど、天然木の長所はそのままです。東集は、この次代の木材を、独自の技術によりあらかじめ構造計算を施した規格型梁材としての提供を実現。生産合理化により、優れたコストパフォーマンスを達成しています。店舗やオフィス、住宅、倉庫、プール、工場など、先進の空間づくりにどうぞお役立てください。

〈構造用集成梁〉の9大特長

① ムク材の1.5倍以上の強度性能。

節や割れ、目切れなどの天然木材の欠点を除いた良材のみを、高品質の構造用接着剤により製造。製品は均質で、強度はムク材の1.5倍以上と大幅に向上しました。

② 長尺スパンが可能。

同一スパンなら断面積はより小さく、同一断面ならスパンをより大きくとることができます。これにより、より自由度の高い空間設計が可能になりました。

③ 高い天井高を実現。

例えば従来と同じ太さ・同じ長さの柱を採用した場合でも、強度に優れる集成材なら、天井裏の構成を最小限に抑えることができるため、空間的な広がりを感じさせる設計が可能。もちろん、柱そのものの長さも思いどおりに選べます。

④ S造やRC造に比べ大幅な軽量化が可能。

単位重量あたりの強度は、ムクのスギでさえ引張り強度で鉄の約4倍、圧縮強度はコンクリートの約5倍、集成材にすると強度はさらに向上します。これにより建物重量はS造やRC造に比べ大幅

に軽量化され、基礎も小さくて済むため、建物のコストダウンが実現します。

⑤ 炭化皮膜による高い防火性能。

ある程度以上の太さの木材は、表面が焦げてもそこにできた炭化層が酸素の供給を遮断し、鉄がダラリと軟化する1000℃になっても炭化速度は遅く、長く必要強度を保ちます。さらに集成材の接着層が炭化層の効果を補い、より高い防火性能が期待できます。

⑥ 保温性が高く、省エネ効果も抜群。

木材の断熱保温性はよく知られていますが、それは鉄の200分の1、コンクリートの4分の1という熱伝導率の低さによるものです。また、外気温に対し自らの温度も一定の幅で保つため、室内は夏涼しく冬は暖かく、省エネにも高い効果を発揮します。

⑦ きわめて良質の音響空間が実現。

木材には、不快感を伴う高音部と低音部を吸収する働きがあります。このため、音楽堂やホール、教会など優れた音響効果が要求される施設において、〈構造用集成梁〉は最適の建材といえることができます。

⑧ 室内スポーツ環境にも最適の建材。

木材には、湿度の高い時には水分を吸収し、低い時には発散する調湿能力があります。集成材は多湿になりがちな室内プールや体育館の理想の建材として、躯体の耐久面からも評価されています。

⑨ 耐薬品性・耐塩性に優れるから、用途は無限。

木は、酸性にもアルカリ性にも強く、化学・食品・倉庫などの工業施設に。また塩害に強いことから魚市場・浅海養殖場・マリナーなどの漁業・レジャー施設に。さらに排ガスに強い特性から橋や歩道橋へと、〈構造用集成梁〉の用途は今、多様な広がりを見せています。

